



2022年8月23日
館山市
東日本旅客鉄道株式会社千葉支社

館山市と東日本旅客鉄道株式会社千葉支社が 地域振興に関する連携協定を締結します

千葉県館山市（市長：金丸 謙一）と東日本旅客鉄道株式会社千葉支社（執行役員千葉支社長：中川 晴美 以下、JR東日本千葉支社）は、相互に連携・協力し、双方の資源を有効に活用した取組みの推進により地域振興を図るため、2022年8月25日に連携協定を締結します。

1. 協定締結の背景

館山市は、地域資源に恵まれたまちであり、豊富な農水産品による食のまちづくりや、豊かな自然環境を活かしたワーケーション等の推進を図り、地域振興の各種取組みを進めています。一方で、JR東日本千葉支社では、グループ経営ビジョン「変革2027」において、地域と連携し「豊かな地方」の実現を目指しており、これまでも、観光商品造成やサイクルトレイン「B.B.B.A.S.E」の運行などを通じて、地域への送客を中心に、まちの活性化施策を館山市と連携し進めてきました。

今年度、内閣府交付金を活用し、JR東日本千葉支社の直営事業であるホテルファミリーオ館山の敷地内にサテライトオフィスの進出拠点を整備する予定となっています。同事業は、館山市、JR東日本千葉支社のほか、地域事業者や学識経験者等で連携し、県外の企業進出や、地域課題の解決、地域ビジネスの活性化を目指すワークプレイスとして展開を予定しています。

本協定の締結により、JR東日本グループが有する広範なネットワークに加え、企画・推進力、発信力等を活かし、館山市が目指す「移住・定住促進」「関係人口の拡大」「観光・スポーツの振興」「地域産業の活性化」に関する取組みを協働で推進していきます。

なお、JR東日本千葉支社が自治体と「地域振興に関する連携協定」を締結するのは、初めての試みとなります。

2. 協定締結の目的

館山市及びJR東日本千葉支社が、相互に連携・協力し、双方の資源を有効に活用した取組みを推進することにより、地域振興を図ることを目的とする。

3. 連携事項

- (1) 移住・定住促進及び関係人口の拡大に関すること
 - (2) 観光・スポーツの振興に関すること
 - (3) 地域産業の活性化に関すること
 - (4) その他、両者が合意した事項に関すること
- ※詳細については別紙を参照

4. 協定締結日

2022年8月25日（木）

5. 有効期間

協定締結の日から2023年3月31日まで ※特段の申し出がない時は、さらに1年間継続し、更新していく。

■今後の連携事項について

(1) 移住・定住促進及び関係人口の拡大に関すること

- ・多様な働き方への対応として、館山市内の各施設と連携し、テレワーク利用の拡大とテレワーカーの移住・定住促進を図る。
- ・ホテルファミリーオ館山内でサテライトオフィス、テレワーク環境整備を行うとともに、地域ビジネスコミュニティとの接点となるセミナーや、ワークショップを開催する。地域活動への参加を通じて地域のファンづくりや来訪促進を図り、地域課題解決・地域ビジネス創出の機会を提供する。
(地方創生を支える基盤づくり、人づくりにつながる「地方創生型ワークプレイス」を開設) ※

※本事業は、内閣府デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生テレワークタイプ）の対象事業に採択されています。

(2) 観光・スポーツの振興に関すること

- ・地域イベントに合わせた臨時列車の設定やサイクルトレイン「B. B. B A S E」を運行しアクセスの利便性向上を図る。
- ・さらなる地域の魅力発掘や自然環境を活かしたアウトドアスポーツツーリズムを推進し、地域への流動促進と観光振興を図る。
- ・ＪＲ東日本グループの海外拠点を活用し、主にアジアからのインバウンド誘致に向けたプロモーション等を行う。

(3) 地域産業の活性化に関すること

- ・地域の二次交通課題解決に向け、駅からの移動の利便性を検討する。
- ・ＪＲ東日本グループのネットワーク・販売チャネルを活かし地域の魅力発信や地域産品紹介等を行う。



館山ワーケーションの推進



B. B. B A S Eの運行（館山駅）

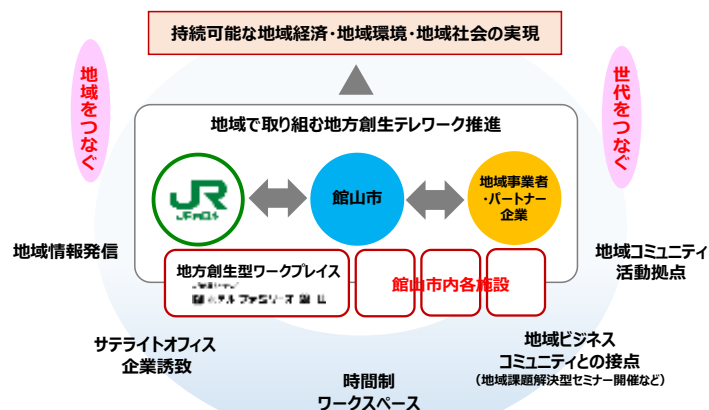


オープントップバス運行
(旅行商品造成)



「館山ジビエ」連携メニュー開発

<地方創生型ワークプレイスのイメージ>



「地域をつなぐ」「世代をつなぐ」をキーコンセプトとし、自治体やエリアのプレイヤーと地域の魅力を発信し、地域や都市をつなぎます。また、地域密着型の各種施策を実施することで、未来の世代につながる持続可能な地域社会の実現を目指します。